

小学校区を構成する町丁目
 下方、下方干拓、五区、吾妻一丁目、吾妻三丁目、公津の杜五丁目、江井須、宗吾一丁目、宗吾三丁目、宗吾四丁目、宗吾二丁目、船形、船形干拓、台方、台方干拓、大袋、八代、飯仲、北須賀、北須賀干拓

面積		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
面積		9.72 (km ²)	213.84 (km ²)	4.54 (%)	
人口・家屋の分布状況	人口	4,242 (人)	132,404 (人)	3.20 (%)	
	人口密度	436.55 (人/km ²)	619.17 (人/km ²)	—	
	男女別人口	男	2,082 (人)	66,487 (人)	3.13 (%)
		女	2,160 (人)	65,917 (人)	3.28 (%)
	世帯数	1,340 (世帯)	27,819 (世帯)	4.82 (%)	
	0歳以上～15歳未満	1,787 (人)	59,910 (人)	2.98 (%)	
	15歳以上～65歳未満	370 (人)	18,647 (人)	1.99 (%)	
	65歳以上～	2,532 (人)	85,938 (人)	2.95 (%)	
	65歳以上の独居者	42 (人)	1,107 (人)	3.82 (%)	
	避難行動要支援者	111 (人)	2,279 (人)	4.89 (%)	
外国人居住者	40 (人)	3,977 (人)	1.01 (%)		
建物分布状況	建物棟数	2,598 (棟)	56,677 (棟)	4.58 (%)	
	木造(S55以前)	926 (棟)	13,866 (棟)	6.68 (%)	
	木造(S56以降)	1,289 (棟)	29,933 (棟)	4.30 (%)	
	RC・SRC造	41 (棟)	2,236 (棟)	1.84 (%)	
	S造	296 (棟)	9,453 (棟)	3.14 (%)	
	その他	46 (棟)	1,189 (棟)	3.86 (%)	
密集度	267.42 (棟/km ²)	265.04 (棟/km ²)	—		

自主防災組織結成状況
 組織数 5 世帯数 977 結成率 0.73 (%)

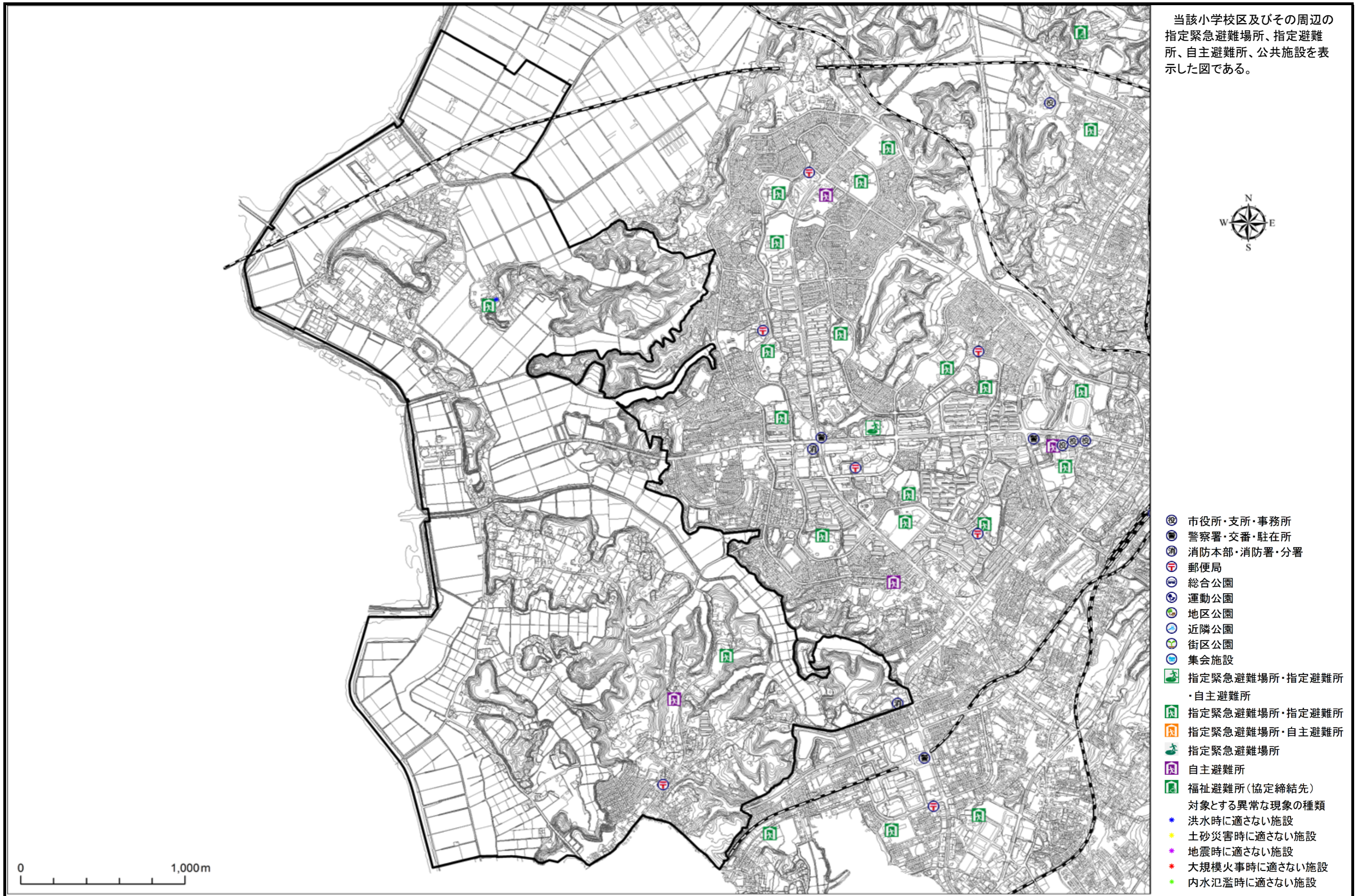
消防本部・消防署・分署		赤坂消防署公津分署			
消防団	第2分団第1部、第2分団第3部、第2分団第4部、第2分団第6部、第2分団第9部、第2分団第11部				
警察署・交番・駐在所	—				
市役所・支所・事務所・集会所等	—				
種類	箇所数	種別	箇所数	種別	箇所数
防災井戸	0	給水栓	1	給水拠点	1
防災倉庫	0	資材置場	0	水防倉庫	0
消防団器具庫	6	AED設置施設	6	災害拠点病院	0
病院・診療所	1	歯科医院	0	福祉施設	4
保育所・幼稚園等	2	水位観測所	0	雨量観測所	0
防災行政無線屋外子局	4	ヘリコプター臨時離着場	0	ドクターヘリ臨時離着場	1
震度計	0	郵便局	1	公園	4

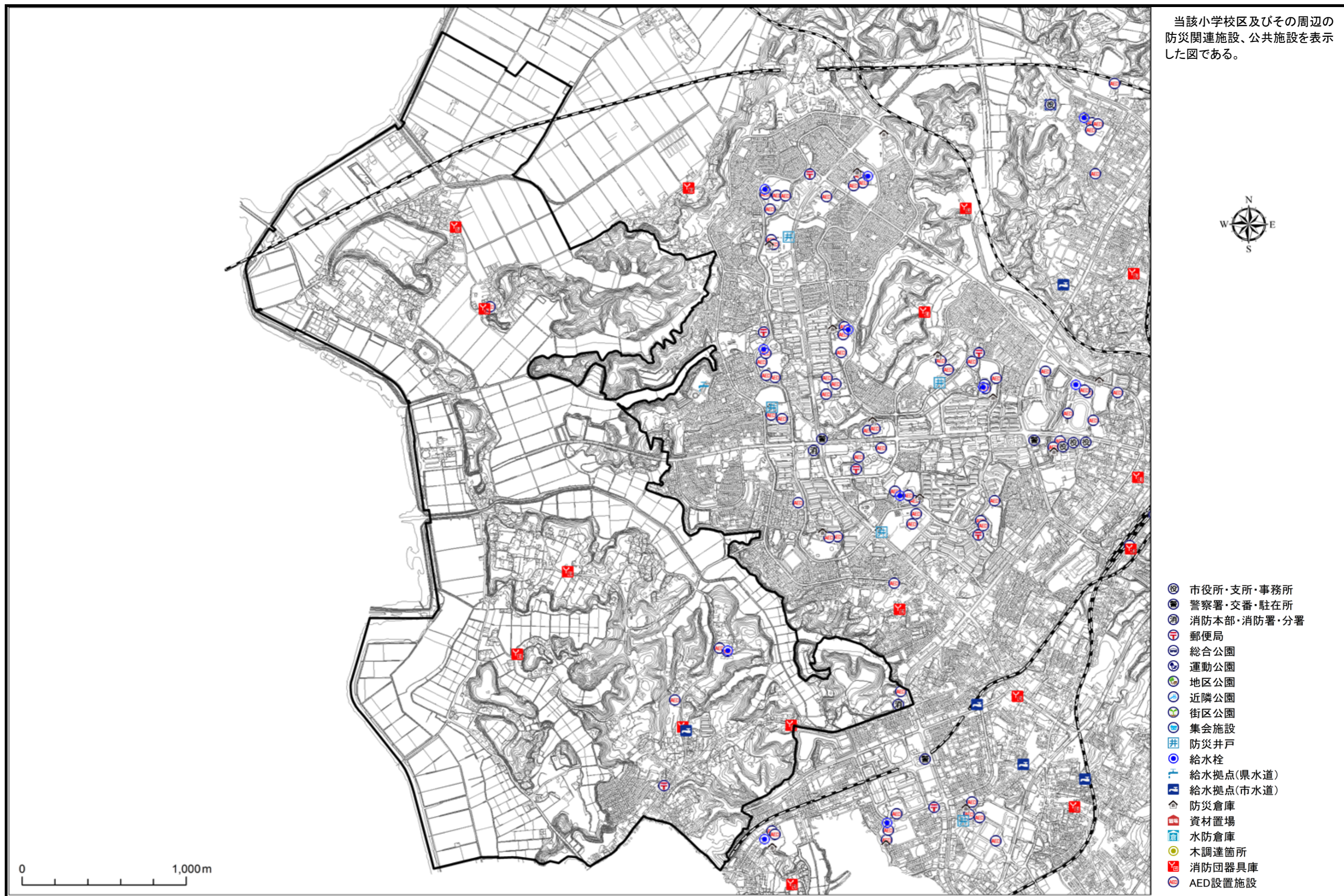
避難施設	種類				施設名称	収容人数(人)	
	指定緊急避難場所	指定避難所	自主避難所	福祉避難所		指定緊急避難場所	指定避難所
●	●				印東体育館	248	248
●	●				公津小学校	2,037	194
		●			公津公民館	—	—
収容人数合計						2,285	442

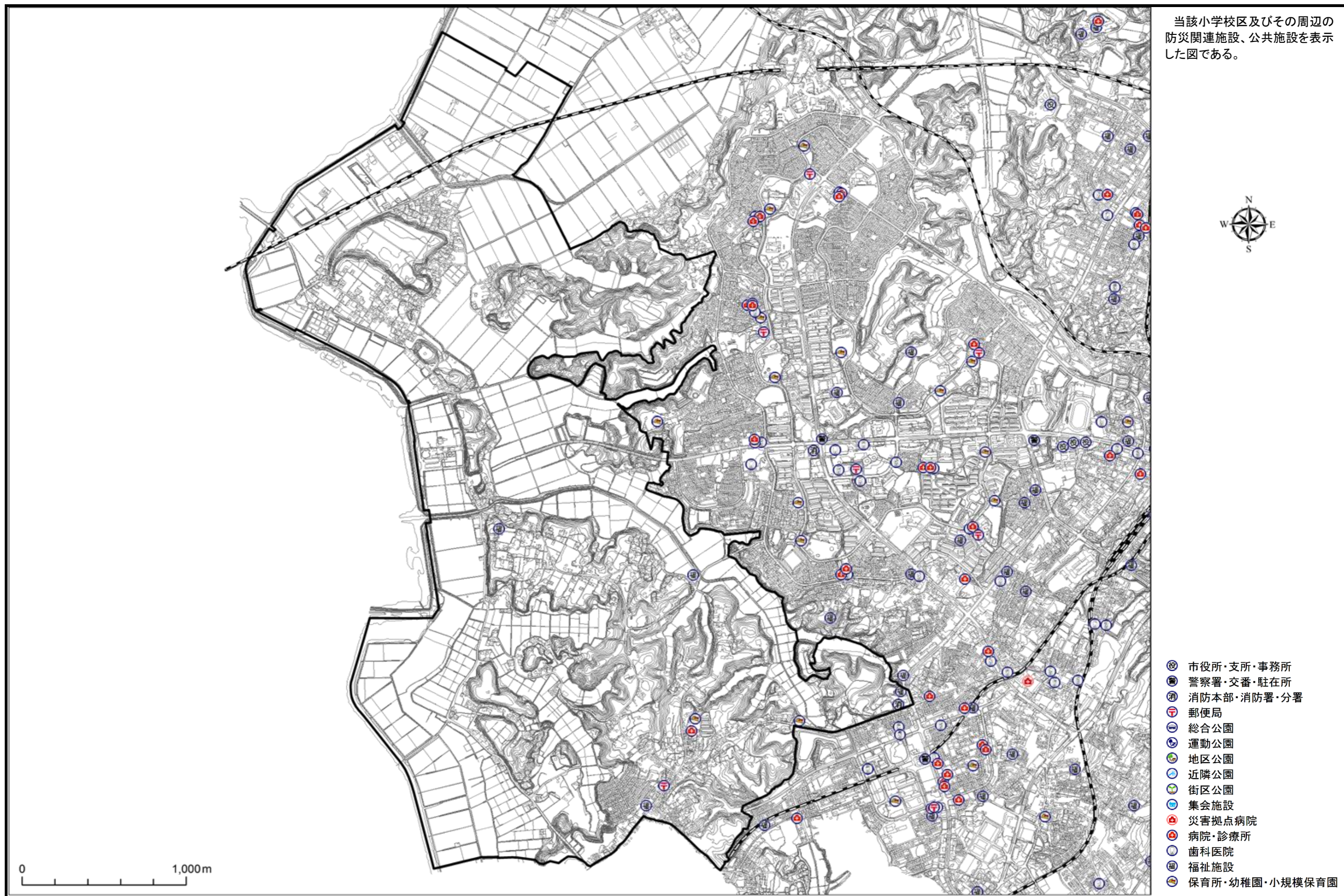
洪水被害想定	利根川浸水想定区域			根木名川浸水想定区域		
	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)
浸水面積(km ²)	4.41	38.43	11.46 %	0.00	16.17	0.00 %
浸水する建物数(棟)	599	5,565	10.77 %	0	1,428	0.00 %
避難の対象者数(人)	653	6,025	10.84 %	0	2,238	0.00 %

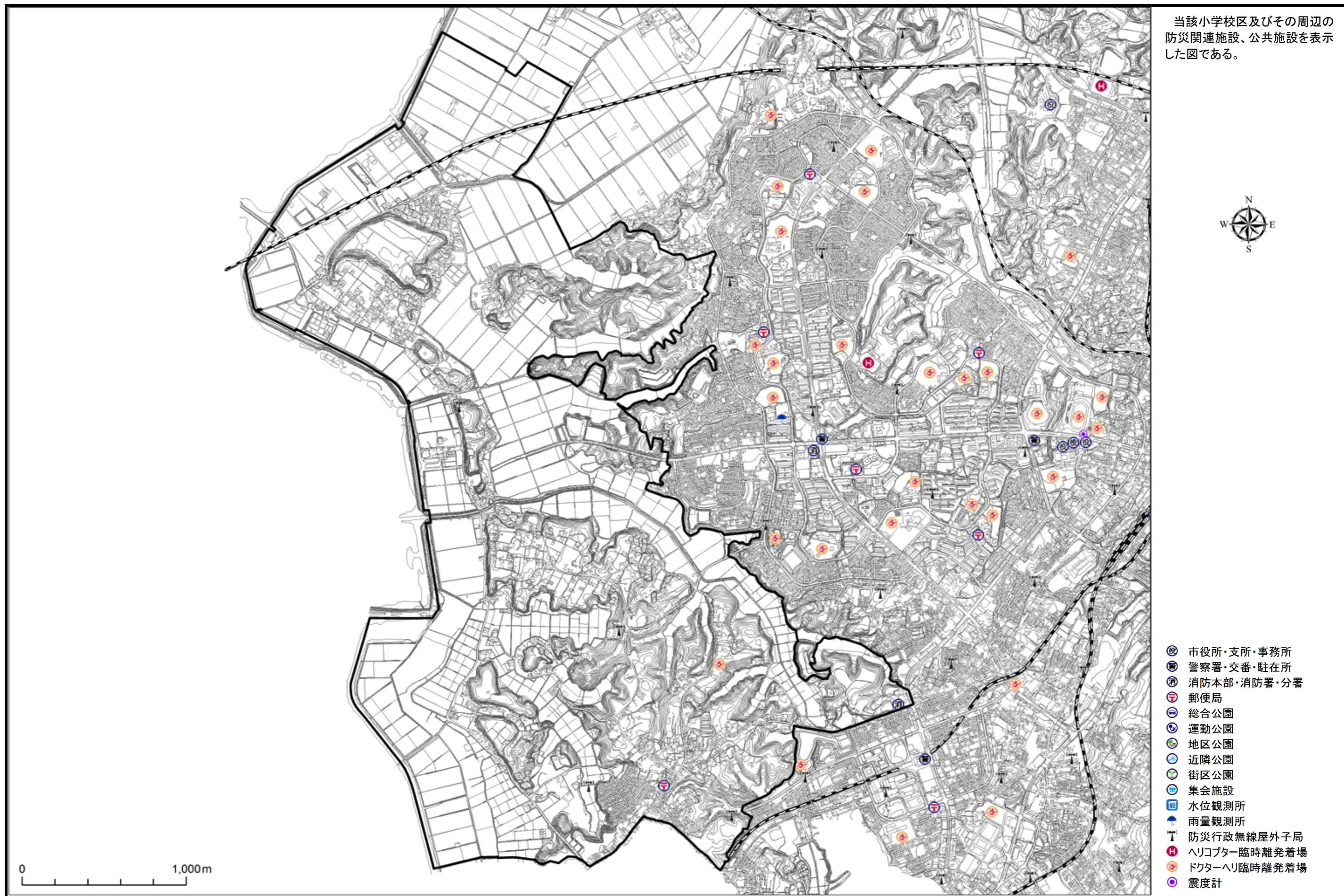
土砂災害被害想定	箇所数(箇所・地区)		重なる面積(ha)		重なる建物数(棟)		避難の対象者数(人)	
	I	II	III	うち特別警戒区域	山腹崩壊危険地区			
急傾斜地崩壊危険箇所	9	21	1	14	0	197	203	
土砂災害警戒区域			14	14	0	113	130	
うち特別警戒区域			14	14	0	8	9	
山腹崩壊危険地区			0	0	0	154	144	
			14	14	0	62	60	
			0	0	0	0	0	

地震被害想定結果	震度階級					液状化危険度			
	5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL
面積(km ²)	0.00	0.00	8.78	0.94	0.00	3.77	2.81	2.46	0.67
建物被害(棟, 出火件数のみ件)					人的被害(人)				
小学校区(a)					小学校区(a)				
市全体合計(b)					市全体合計(b)				
割合(a/b)					割合(a/b)				
木造 全壊	99	1,779	5.57 %	死者数	1	16	5.36 %		
木造 半壊	332	5,752	5.78 %	負傷者数	82	1,471	5.55 %		
非木造 全壊	12	300	4.00 %	重傷者数	11	198	5.39 %		
非木造 半壊	11	232	4.74 %	軽傷者数	71	1,273	5.57 %		
出火件数	0	5	4.10 %	要救助者数	2	66	3.46 %		
焼失棟数	1	17	3.46 %	避難者数	228	18,189	1.25 %		
上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)				
小学校区(a)					小学校区(a)				
市全体合計(b)					市全体合計(b)				
割合(a/b)					割合(a/b)				
断水人口	25	37,668	0.07 %	支障人口	99	3,341	2.96 %		

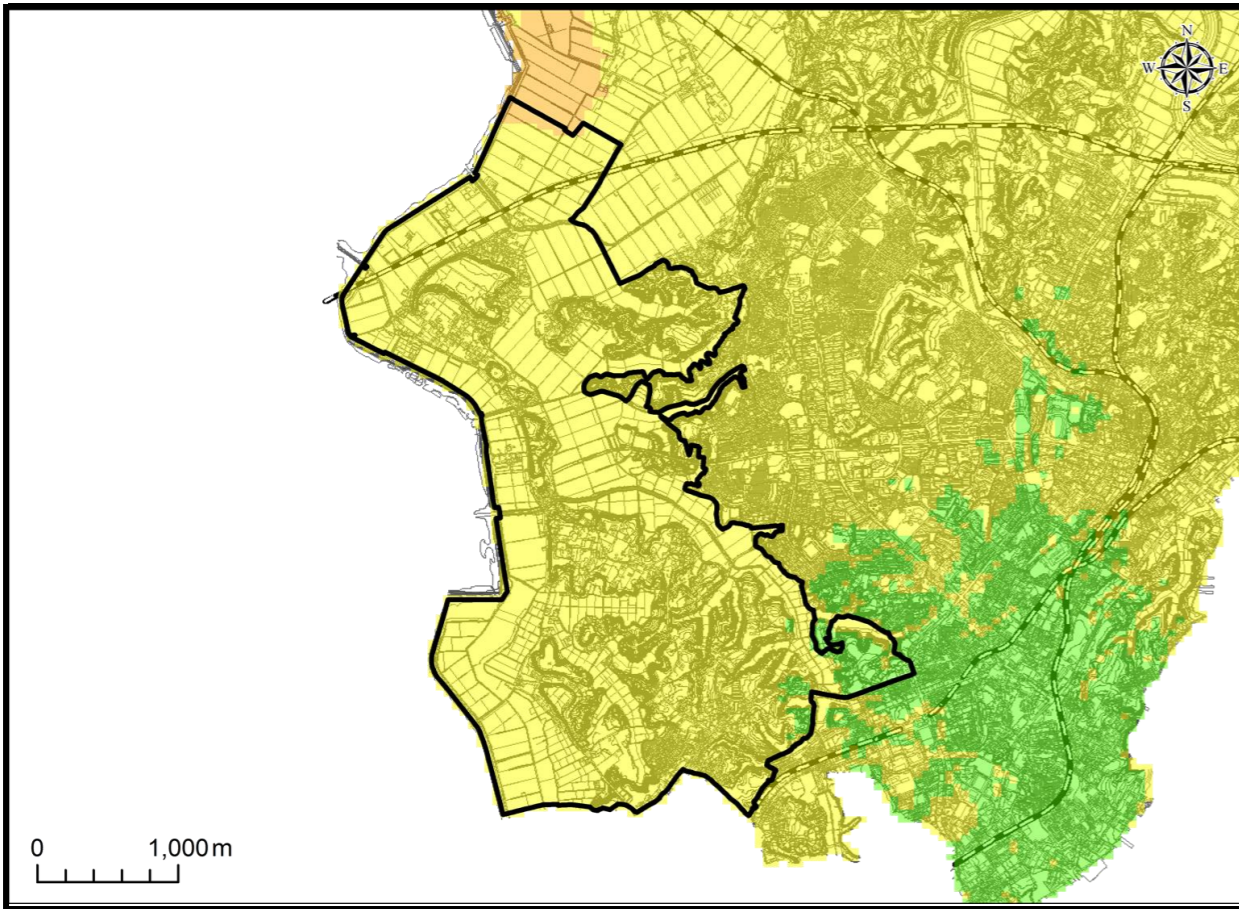




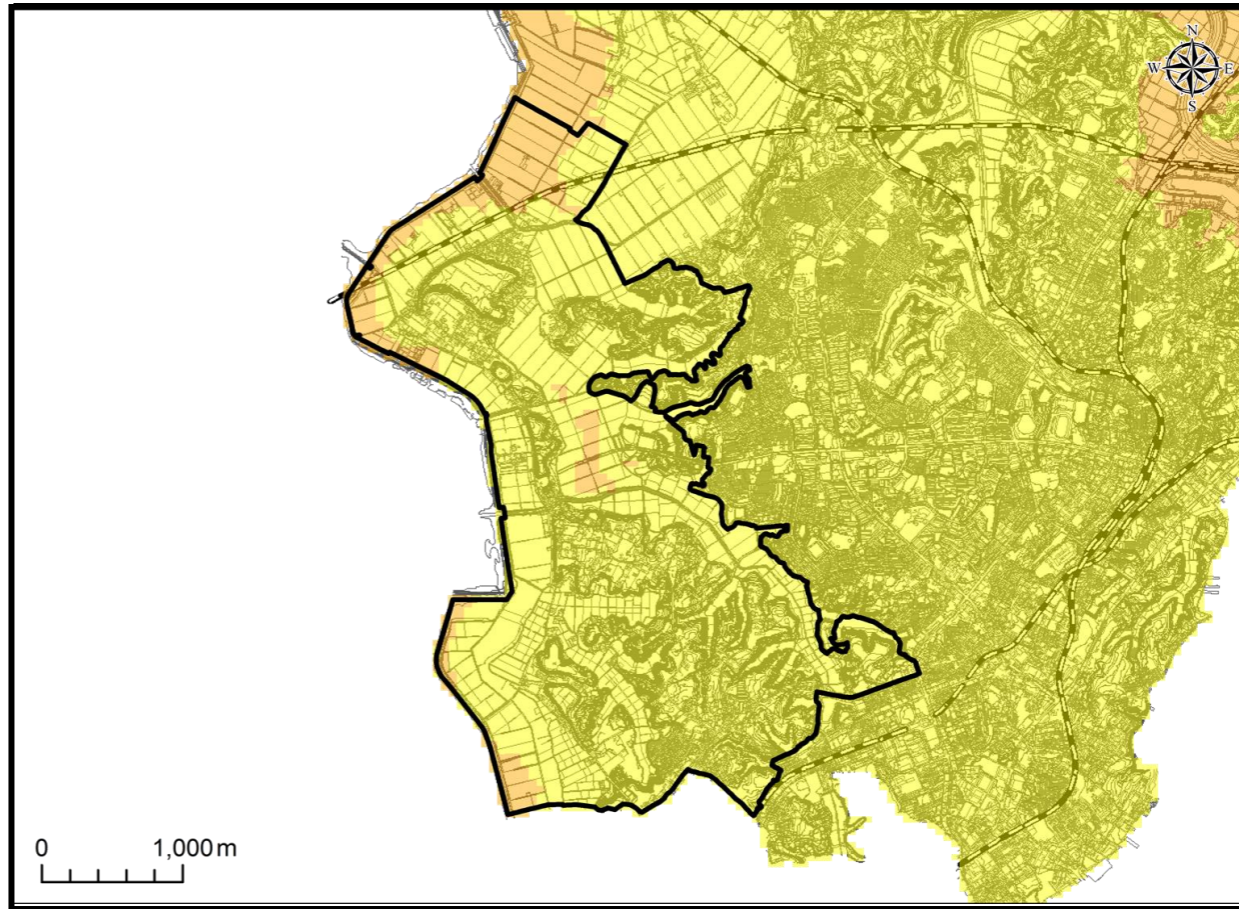




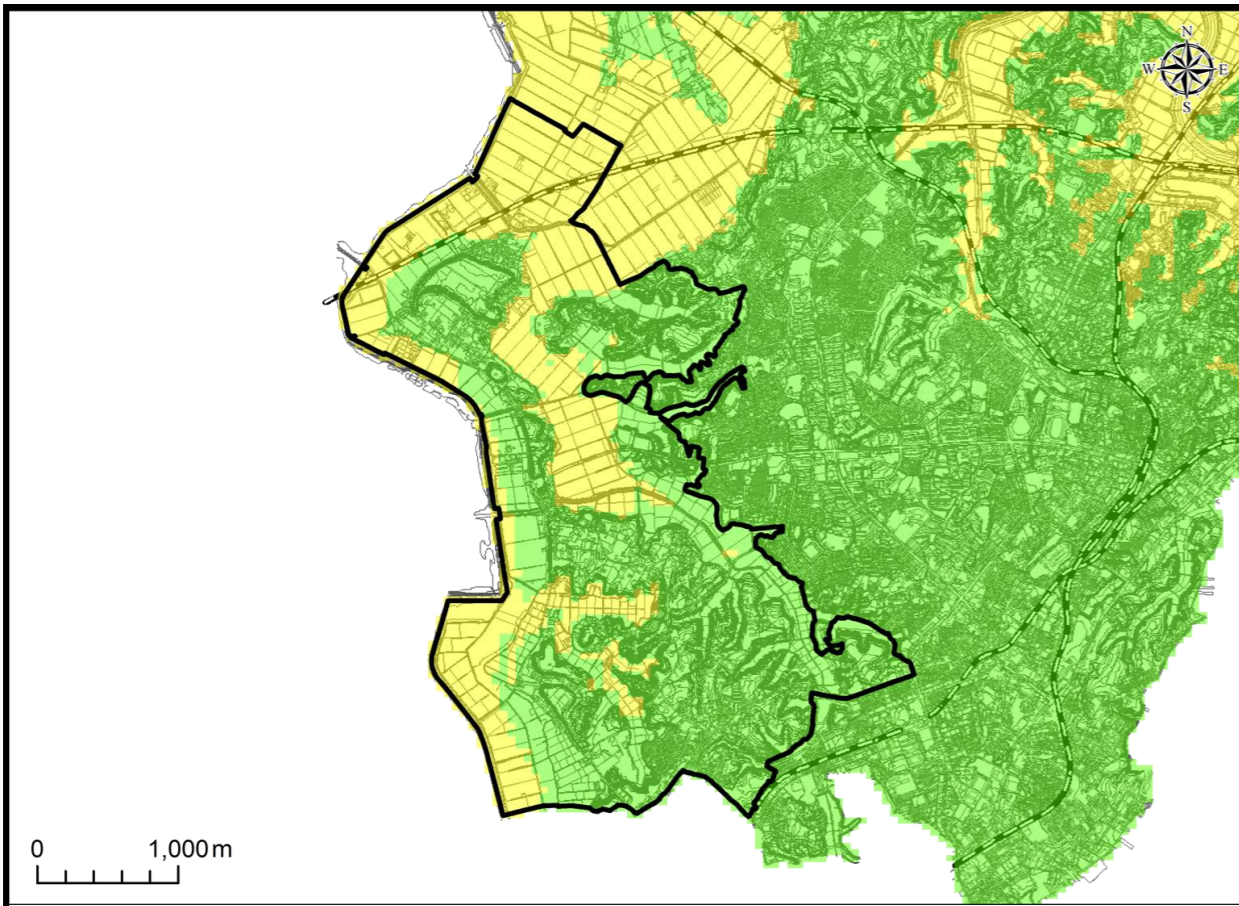
●想定震度階級 (A. 千葉県北西部直下地震)



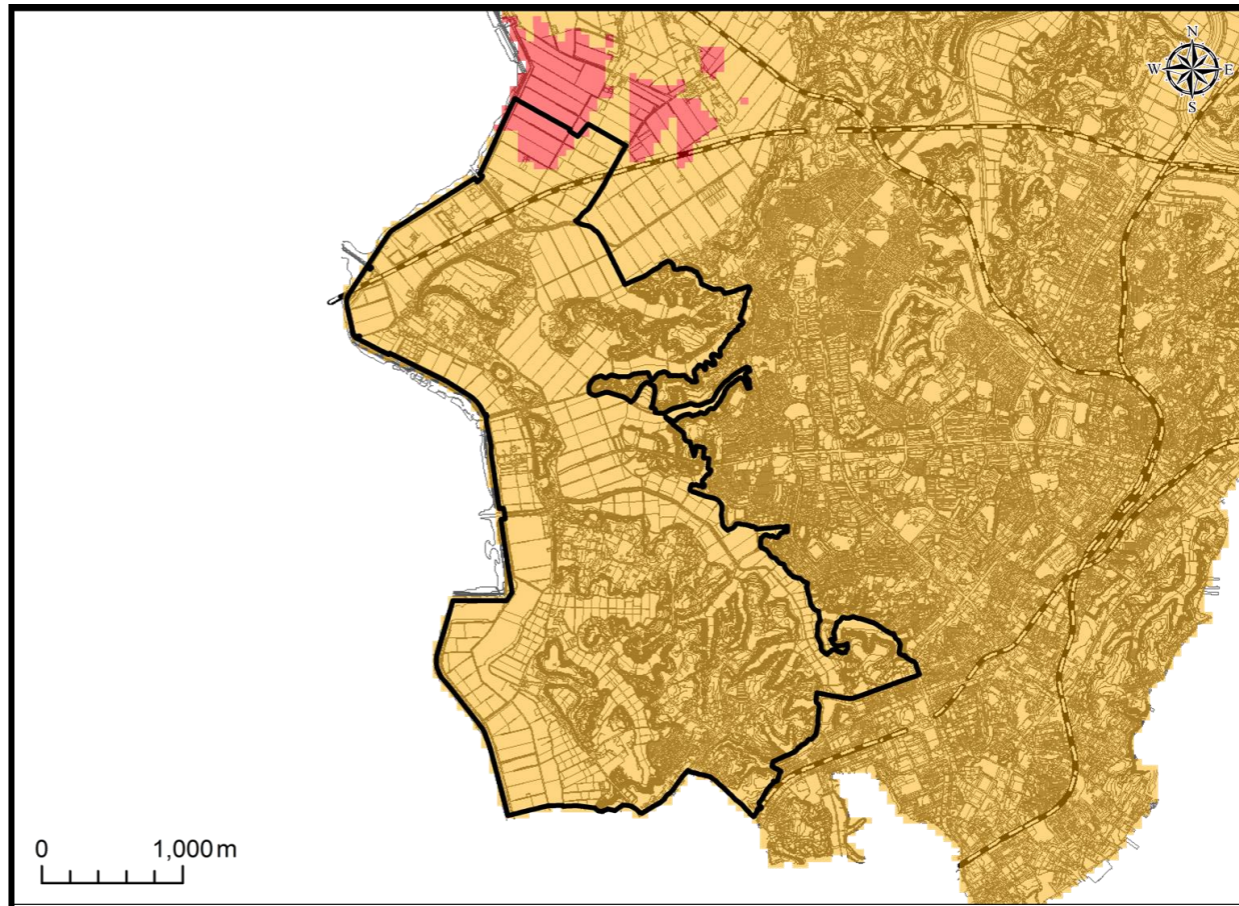
●想定震度階級 (B. 成田空港直下地震)



●想定震度階級 (C. 茨城県南部地震)



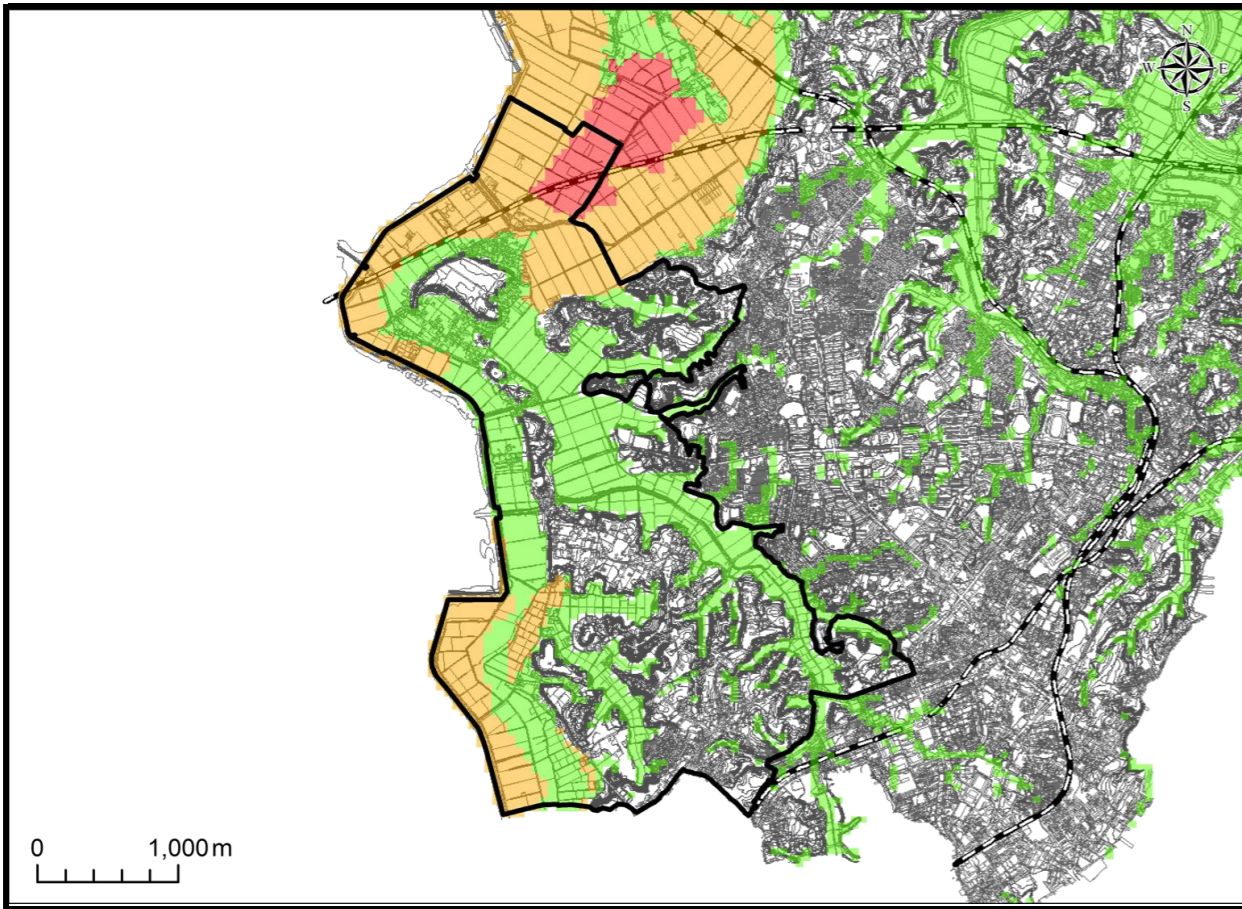
●想定震度階級 (D. 成田市直下地震)



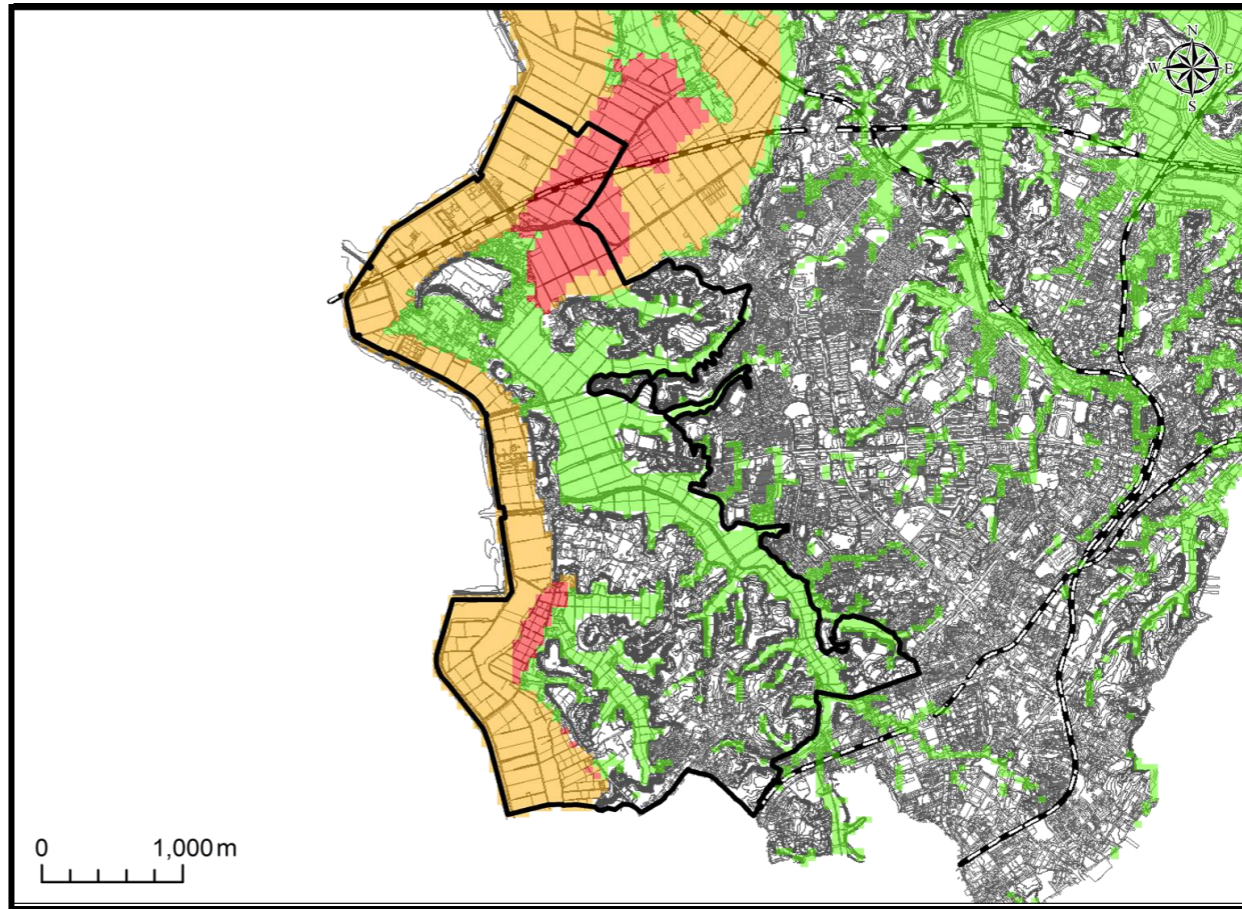
当該小学校区の震度階級を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。
 なお、震度は、地盤条件、地震の規模(マグニチュード)や震源の深さ、震源からの距離等によって異なる。このため、相対的なゆれの強さは地震によって異なる。

- 凡例
 震度階級
 5強
 6弱
 6強
 7

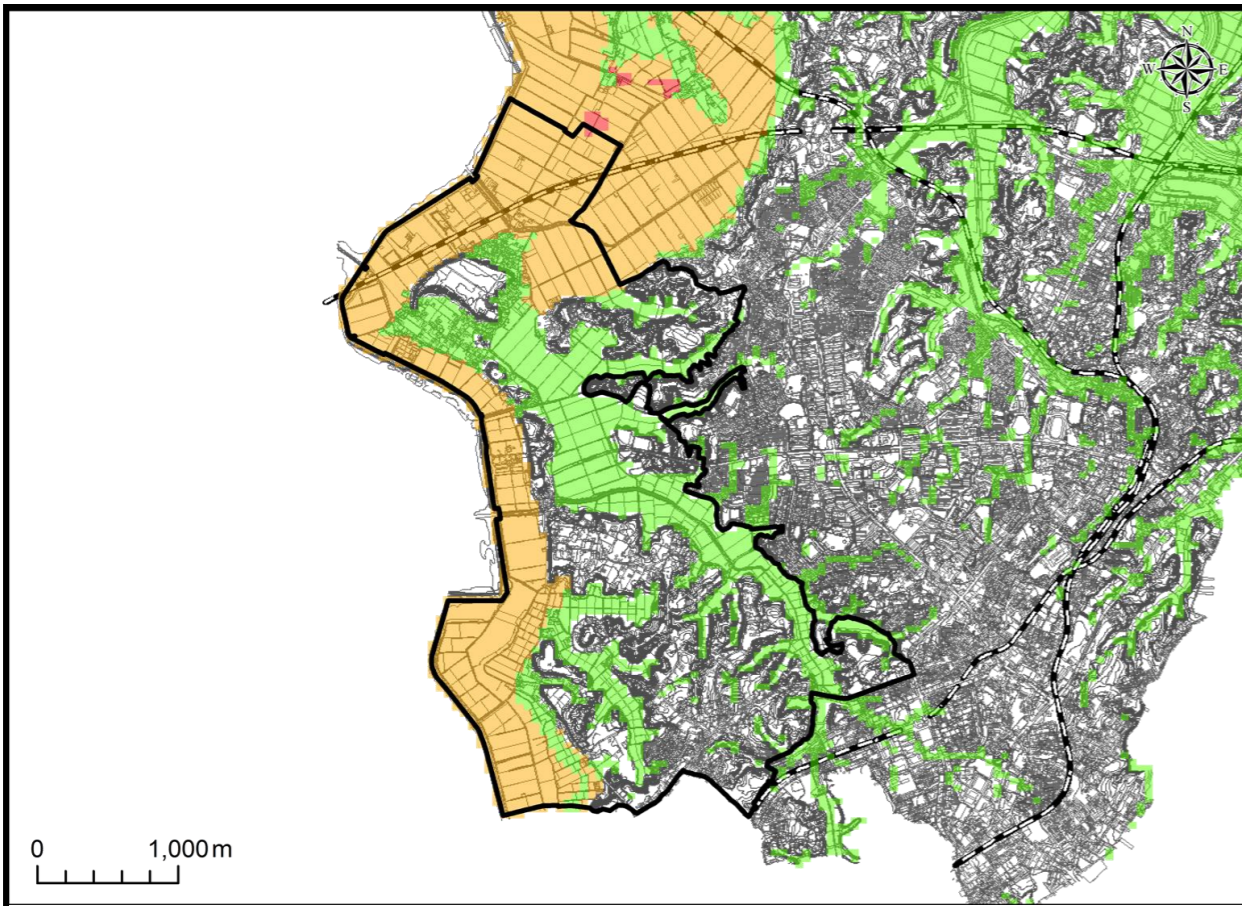
●想定液状化危険度 (A. 千葉県北西部直下地震)



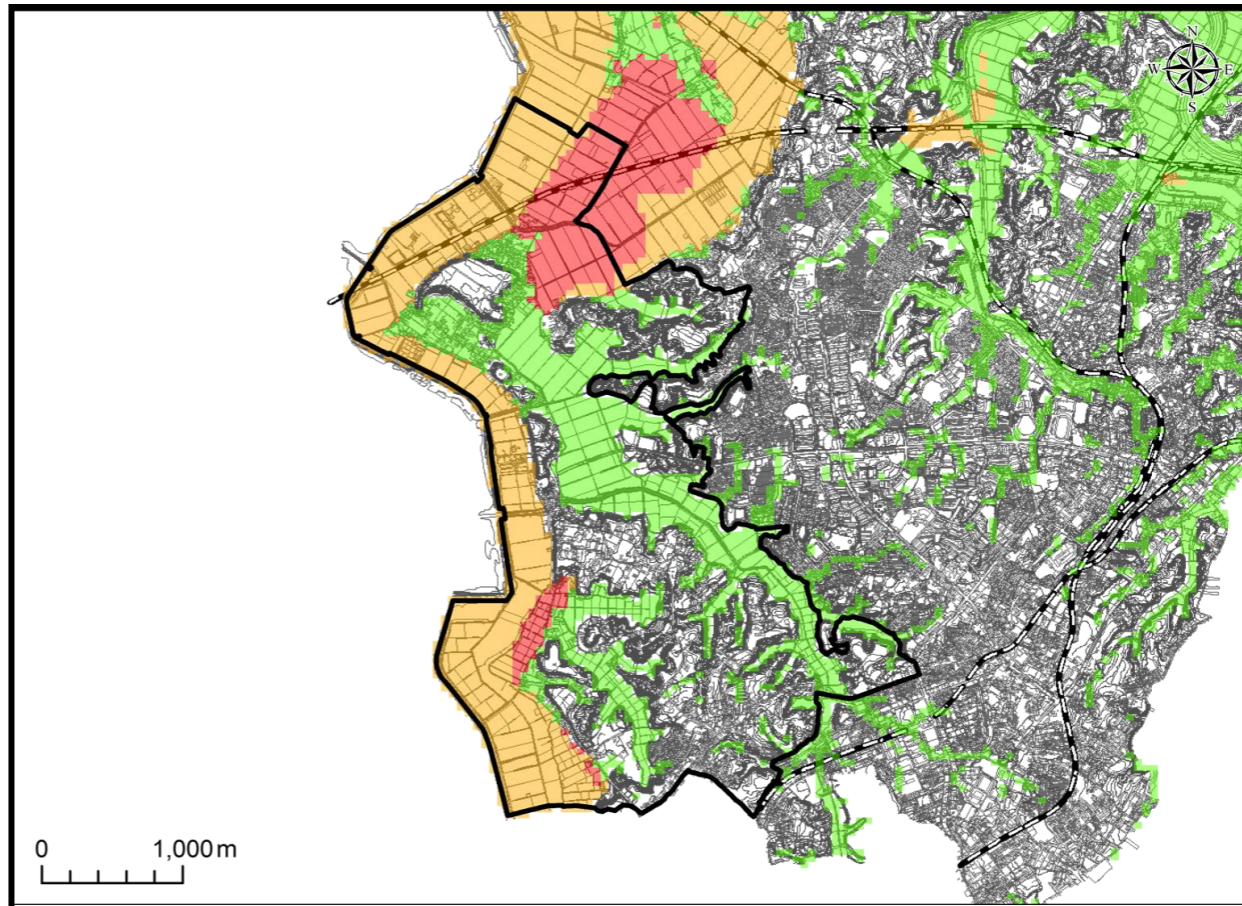
●想定液状化危険度 (B. 成田空港直下地震)



●想定液状化危険度 (C. 茨城県南部地震)

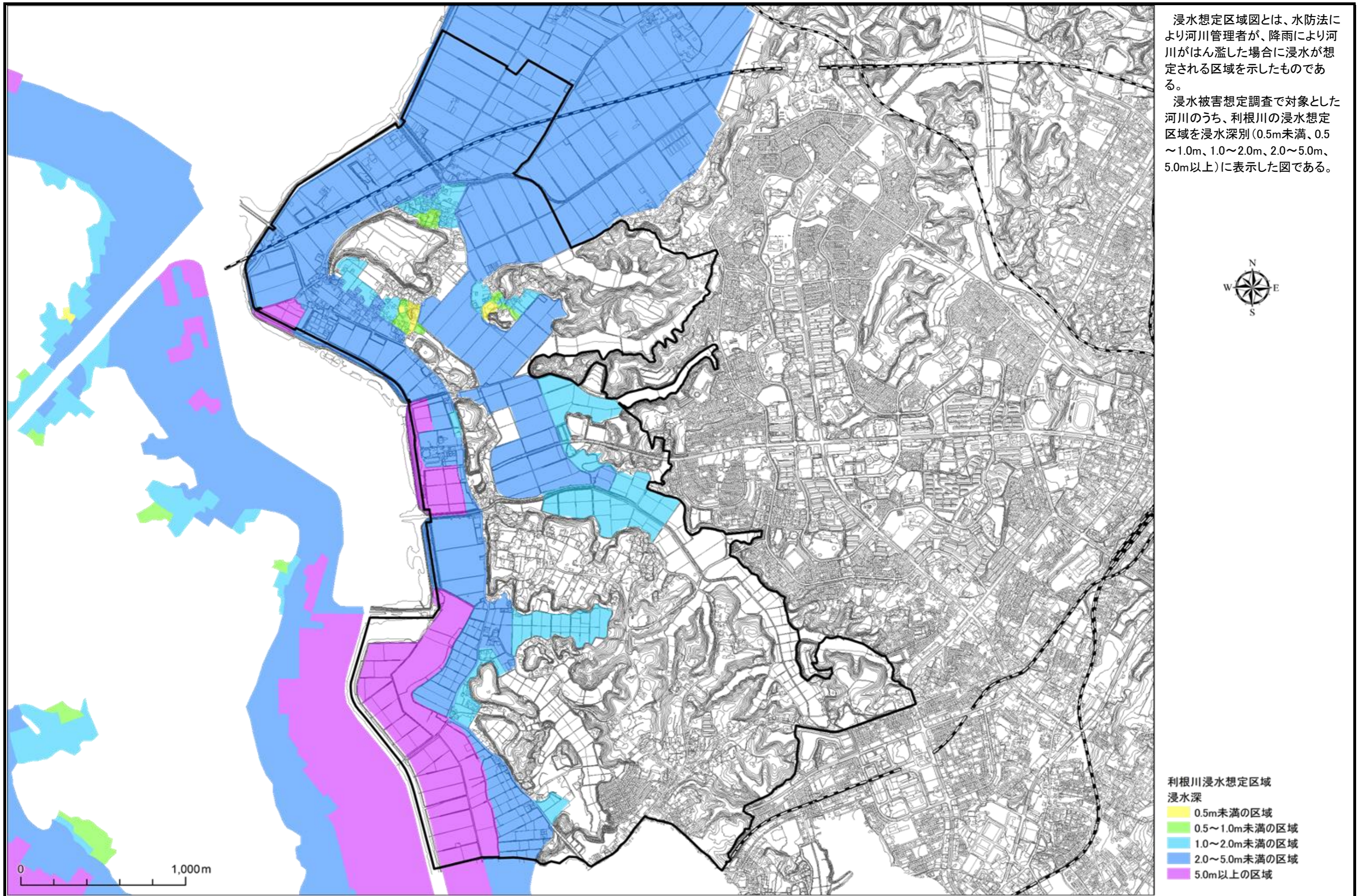


●想定液状化危険度 (D. 成田市直下地震)



当該小学校区の液状化危険度を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。PL値が大きいほど、液状化危険度は高い。

- 凡例
- PL値
- 15 < PL
 - 5 < PL ≤ 15
 - 0 < PL ≤ 5
 - PL = 0





0 1,000m

